



INTERVIEW

福島で、実現する。

あなたが実現したいことは、なんですか？

先輩職員インタビュー



土木

「笑顔で暮らせる福島の県土づくりに

誠実に、積極的に取り組みます」

所属 土木部 土木企画課

● これまでの経歴(所属年度)

H24~H26 棚倉土木事務所 業務課

H27~H29 企業局 工業用水道課(相馬市駐在)

H30~R1 相双建設事務所 企画管理部 企画調査課

R2 相双建設事務所 事業部 河川砂防課

R3 ~ 土木部 土木企画課

Q. 現在の仕事内容とそのやりがいについて教えてください。

A. 私は、市町村からの道路・河川整備などに関する要望対応や、地域の方々の生活に密着した公共土木施設をより良い生活環境となるよう改善する事業の担当をしています。

業務においては、県全体を見渡す必要がありますが、難しく感じる場面も多々ありますが、ひとつずつ丁寧に業務を行うことで自分の成長を実感できることや、苦労したその先で地域へ貢献できていることにやりがいを感じます。





Q. 福島県職員として、実現したいことを教えてください。

A. ひとつひとつの業務が誰もが笑顔で過ごせる“ふくしま”に繋がることを意識しながら、県民の安全・安心に繋がるインフラ整備はもとより、それぞれの地域で抱えている課題を地域に寄り添い解決していける県職員を目指していきたいです。

また、「土木」の事業の中でも様々な業務に携わることができるため、まだ経験していない分野にも積極的に挑戦していきたいです。

Q. 仕事をする中で嬉しかったことを教えてください。

A. 入庁して初めて任された仕事は、道路の修繕工事でした。数百メートルの小さな工事でしたが、現地調査から設計書づくり、工事完了までのプロセスはとても長く感じた反面、完了した時の達成感は今でも覚えています。

Q. あなたの県職員生活をキーワードで伝えるとしたら、どんな言葉が思い浮かびますか。

A. 「誠実さ」「親しみやすさ」「柔軟性」「子育て」「アウトドア」

Q. 「誠実さ」について教えてください。

A. どんな業務も自分一人では完結できないので、常にコミュニケーションを意識して、地域の皆さんや職場の上司、先輩、同僚へ感謝を忘れず“誠実さ”を大事に取り組んでいきたいです。

Q. 受験者に向けたメッセージをお願いします。

A. 土木部では大規模なプロジェクトから、インフラの維持管理や災害時の対応など携わる仕事は多岐に渡りますが、どれも県民の方々の安全・安心な生活に繋がる大切な仕事です。“ふくしまのこれから”を支えていく県土づくりをみなさんと一緒にできる日を楽しみにしています。



★この職員のインタビューは、パンフレット・動画にも掲載しています！ぜひご覧ください！